

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)		-	-	-
		通信会社（店長）	販売量の動き	・販売量自体は前年同月とほぼ同じだが、今年の夏は動きが悪かったため、3か月前と比較すると上向き傾向にある。
		ゴルフ場（経営者）	単価の動き	・料金を上げたにもかかわらず、入込の予約状況は若干のプラスである。売上の的にはかなり良化すると見込まれる。
		その他のサービス [レンタカー]（営業担当）	来客数の動き	・予約件数が前年比120%とやや好調に推移している。10月同様インターネット経由の予約が好調である。これまでの旅行会社提供のバック旅行から、インターネットで飛行機、ホテル、レンタカーをそれぞれ個別で手配する旅行にシフトして来ている傾向にあると予想される。
		住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・今月開催した住宅完成見学会への来場者数が、5月開催時に比べ61%増となっている。
		一般小売店 [菓子]	販売量の動き	・県内入域観光客数が増加している割に、大きな動きはない。
		百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・これまで暖冬傾向で厳しかった衣料品の動きが、気温低下により動き出し、前年同月比で前年をクリアした。しかし、これまでけん引してきたインパウンドの売上が横ばいとなり、客数は増えているが客単価はダウン傾向となっている。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・財布のひもが緩んだと感じたり、そうでもないと感じられたり、景気は安定してないとみられる。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・自社競合により、来客数が前年同月比5%減となっている。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・今月の客室稼働率は、前年同月実績と比べ上回っている状況である。3か月前と比べ、前年比のプラス幅はほぼ同様である。
		住宅販売会社（代表取締役）	来客数の動き	・北部で約2億円の投資物件の建築工事、離島では約1億7千万円のアミューズメント施設建築工事に関してそれぞれ契約準備中である。また、複数の建売住宅は建築途中だが一部は契約済みである。受注に関しては概ね順調に推移している。
		スーパー（販売企画）	来客数の動き	・1品単価のアップは続いており、客単価もアップしているが、客数の減少により売上は昨年並みとなっている。
		その他飲食 [居酒屋]（経営者）	競争相手の様子	・人手不足でシフトが組めず、店休日でのぐ店舗が増えている。特に弊社はサラダバーが売りの店舗があるので、葉物野菜の値上がりで原価も厳しくなっている。米国の次期大統領の当選は決まったが、何か起こるのではという危機感が同業者間でも出ている。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・全体的には去年より良いが、国内客の個人旅行が減少しているため、現金売上はやや悪くなっている。
	x	商店街（代表者）	競争相手の様子	・商店街は、個人店の集まりであり、大型店との競争に大変苦慮しているようである。大型店は安い値段で販売しているので、客を取られているような感がある。個人店ではバーゲンをやっても、値引きの問題で大変厳しいところもあり、売上も良くないとみられる。
企業 動向 関連 (沖縄)		-	-	-
		-	-	-
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年比でみると公共工事向けは減少、民間工事向けは増加、全体で横ばいの状況である。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新築及びリフォームとも、受注金額が3か月前と比べて横ばいの状況である。
	x	輸送業（営業）	それ以外	・取扱物量増や新規問い合わせが続いているものの、人手不足のため業務拡大は厳しい状況である。また、10月からの最低賃金アップや、従業員不足を補うための採用条件見直し、現行の従業員待遇の見直しも実施しており、人件費増による収益悪化が継続的に続いている。荷主への転嫁がすぐにはできないこともあり、収益悪化は続く見込みである。
雇用 関連		-	-	-
		求人情報誌制作会社（編集室）	求人数の動き	・11月の週平均求人数は929件だった。8月の871件と比較すると週平均で58件増加した。

(沖縄)	人材派遣会社 (総務担当)	求人数の動き	・職業紹介や紹介予定派遣は増えている傾向にあるが、長期派遣への求人受注数は減少している。
	学校[専門学校] (就職担当)	求人数の動き	・年末に向けてアルバイトの求人は増えてきたが、正社員雇用の求人の動きは鈍くなっている。
	-	-	-
	x	-	-